

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	12,300,000株	22年3月期	12,300,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	658,896株	22年3月期	658,896株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	11,641,104株	22年3月期1Q	11,642,647株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、製造業の一部に緩やかな回復の動きが見られましたが、為替の円高基調への企業の警戒感や欧州における金融不安の発生といった新たな不安要素も加わり、その回復力は弱く、雇用、消費においても停滞感が払拭されない状況で推移いたしました。

当社グループ（当社及び当社の関連会社）事業の中核でありますエネルギー業界におきましても、個人の節約志向の浸透や産業用エネルギー消費の低迷等により引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと当社グループは積極的な提案型営業を展開するとともに、経費削減に努めてまいりましたが、エネルギー間の競争激化の中で利益確保が厳しい状況で推移いたしました。

当第1四半期累計期間の当社グループの連結業績は、原油、LPガスの輸入価格上昇に連動して燃料類の仕入価格が上昇する中で販売価格も上昇したものの、価格転嫁が十分に追いつかず利益確保が厳しい展開となりました。

これらの結果、売上高は6,660百万円（前年同四半期比11.2%増）となりましたが、経常利益は244百万円（同6.9%減）となりました。また地価の継続的下落に伴う減損処理及び資産除去債務の過年度償却分を特別損失に計上したこと等により、当第1四半期純利益は、106百万円（前年同四半期比15.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少、満期のある有価証券の償還等により前期末比1,305百万円減の19,567百万円となりました。

負債は、前期末比1,107百万円減の6,675百万円となりました。この主な要因は、法人税等の納付による未払法人税等374百万円の減少、支払手形及び買掛金が350百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、配当金の支払等により前期末比197百万円減の12,892百万円となりました。この結果、自己資本比率は65.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績については、仕入価格や気候の動向等、販売価格及び数量に対し多分に不確定な要素を含むため、現時点では平成22年5月14日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、4百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,401	3,548
受取手形及び売掛金	2,568	3,413
有価証券	—	1,000
商品及び製品	1,245	1,152
仕掛品	29	13
原材料及び貯蔵品	319	197
繰延税金資産	116	191
その他	82	65
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	7,754	9,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,026	7,700
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,323	△6,127
建物及び構築物(純額)	1,702	1,573
機械装置及び運搬具	4,308	4,000
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,587	△3,293
機械装置及び運搬具(純額)	721	706
工具、器具及び備品	2,320	2,226
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,925	△1,904
工具、器具及び備品(純額)	394	322
土地	5,726	5,531
建設仮勘定	20	58
有形固定資産合計	8,565	8,193
無形固定資産		
その他	269	151
無形固定資産合計	269	151
投資その他の資産		
投資有価証券	2,240	2,410
繰延税金資産	359	176
差入保証金	235	237
その他	211	204
貸倒引当金	△69	△70
投資その他の資産合計	2,978	2,958
固定資産合計	11,813	11,302
資産合計	19,567	20,873

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,914	2,265
短期借入金	2,317	2,945
1年内返済予定の長期借入金	150	174
リース債務	0	0
未払法人税等	18	393
賞与引当金	94	204
その他	460	403
流動負債合計	4,956	6,386
固定負債		
長期借入金	274	162
リース債務	2	3
繰延税金負債	108	17
退職給付引当金	843	865
役員退職慰労引当金	308	187
資産除去債務	15	—
負ののれん	—	1
その他	165	157
固定負債合計	1,718	1,396
負債合計	6,675	7,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,246	1,246
利益剰余金	10,338	10,430
自己株式	△341	△341
株主資本合計	12,756	12,849
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109	214
評価・換算差額等合計	109	214
少数株主持分	26	26
純資産合計	12,892	13,090
負債純資産合計	19,567	20,873

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,992	6,660
売上原価	4,417	5,098
売上総利益	1,575	1,562
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	463	454
退職給付費用	37	8
役員退職慰労引当金繰入額	6	10
その他の人件費	123	163
賞与引当金繰入額	73	80
消耗品費	139	113
減価償却費	116	125
その他	398	414
販売費及び一般管理費合計	1,357	1,369
営業利益	217	192
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	22	23
持分法による投資利益	2	6
その他	28	29
営業外収益合計	56	60
営業外費用		
支払利息	11	8
その他	0	0
営業外費用合計	12	8
経常利益	262	244
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	14	1
保険解約返戻金	—	2
特別利益合計	15	4
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	4
減損損失	11	23
投資有価証券評価損	16	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
その他	3	—
特別損失合計	36	32
税金等調整前四半期純利益	241	216
法人税等	116	111
少数株主損益調整前四半期純利益	—	105
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	125	106

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。